

3. 日本畜産学会第 114 回大会

日時：2011 年 8 月 26 日-27 日 於：北里大学獣医学部

主催：日本畜産学会

一般講演：栄養・飼養・遺伝・生理会場（Key words；肉牛、副産物飼料、自給飼料）から一部を紹介

I26-18 農家における**肥育後期のビタミンC製剤給与**が黒毛和種牛肥育成績に及ぼす影響
（栃那須農振ほか）

I26-20 **初期成長期の代謝的インプリンティング**効果の解明：初期成長期の栄養環境の違いが粗飼料**肥育牛の肉質**に及ぼす影響（家畜改良センターほか）

黒毛和種子牛に代用乳を 1800g/日を 3 ヶ月齢まで給与する強化哺乳と配合飼料を体重比 2.5%を 10 ヶ月齢まで給与しその後放牧のみで肥育すると、高栄養で育成した牛の放牧肥育後の BMS 値、肉色、脂肪色の成績は良好で脂肪のオレイン酸含量も高かった。

I26-21 **稲発酵粗飼料**を用いた発酵 TMR 給与が胸最長筋の**肉質**に及ぼす影響
（家畜改良センターほか）

稲発酵粗飼料(30-20%)と食品副産物(粕類)(40-30%)と配合飼料(30-50%)で構成する TMR を全肥育期間 30 ヶ月齢まで給与しロース芯の肉質分析を行った。理化学的特性、官能特性に乾草・配合飼料給与肥育との間に有意な違いはみられず、筋肉中のビタミン E 含量が 2.6mg/kg と高く、抗酸化作用に有効なことが示された。

I26-25 濃厚飼料中の**イアコーンサイレージ**の混合割合が**黒毛和種去勢牛の消化性・第一胃発酵**に及ぼす影響（道総研畜試）

イアコーンサイレージは肥育用配合飼料より CP 含量が低く、EE 含量が高かった。配合飼料中の混合割合 60%までの範囲では DM 消化率に変化はみられず、ルーメン内容性状では混合割合の増加によるアンモニア態 N の低下が見られた。イアコーンサイレージの給与割合を高める場合は CP 補給が必要と考えられた。

I26-33 粗飼料給餌条件下における**黒毛和種牛と日本短角種牛の消化能力**の比較
（北里大獣医ほか）

グラスサイレージを飽食させて黒毛和種と日本短角種の粗飼料消化力を比較したところ、日本短角種の方が一日の反芻時間が長く、蛋白・脂肪の消化率が高く、代謝体重当たりの採食量が多かった。

I27-14 **肉牛肥育農家および酪農家で給与されている飼料のマンガン・鉄・コバルト・銅・亜鉛・モリブデン含量**（京大院農）

肉牛肥育農家と酪農家で給与されている飼料の微量元素含量を調査した結果、肥育農家で給与している肥育前期、後期の飼料とも銅含量が日本飼養標準適正值を下回っている農家が 60%以上に及んでいた。また、国産稲ワラ等粗飼料の銅含量は配合飼料よりも低く、給与飼料中の銅含量は配合飼料に依存していた。